

# 暴風雪災害や冬道の交通事故にご注意を



積雪寒冷地の訓子府町にとって、冬期間は、ほかの季節と違った自然災害や交通事故の危険があります。

暴風雪時には、気象情報に注意し、外出を控えるようにするとともに、悪天候が予想される場合は、早めに帰宅することを心がけましょう。

さらに、ドライバーは、夏以上に路面状況に注意しながら安全運転をし、歩行者も周囲の状況に十分気を配って歩きましょう。

## 暴風雪による被害に遭わないために

暴風雪時の道路状況は、極度の視界不良や吹きだまりにより、通行困難となる場合があります。被害に遭わないために、テレビやラジオなどで最新の気象情報や道路状況などを事前に十分確認しましょう。

暴風雪時の基本は「不要不急」の外出を避けることです。やむを得ず外出するときは、天候に応じた対応を心がけましょう。

## 日常から暴風雪に備える

- 家中で安全に過ごすために
  - ・停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブなどを準備しておきましょう。
  - ・外出できない場合に備えて、非常食や飲料水などを備蓄しておきましょう。
  - ・FF式暖房機などを使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。
- 停電時の対応も重要
  - ・町では、北海道電力との情報交換、情報伝達を緊密にし、停電状況の把握や町広報車などによる住民周知、町内会・実践会とも連携を密にしていきます。
  - ・また、雪害により停電や帰宅が困難な場合などで避難が必要と判断した場合は、情報を収集し、地域の避難所などへ避難してください。

## やむを得ず車で外出するときは

冬期間は、地域により天気が急変し、車が立ち往生する可能性もあるので、防寒着などの冬道の必需品を車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認してから出かけましょう。

運転をしていて危険を感じたら、無理をせずにコンビニエンスストアやガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう。

## ※こんなときは要注意

「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」のキーワードを使った情報が発表されたら、厳重な警戒を！



# 一人一人の心がけで交通事故を防ぎましょう

冬季は、暴風雪ではなくても、道路状況が悪化している場合が多くなります。凍結路面によるスリップをはじめ、車の運転中に地吹雪や激しい雪に見舞われ、対向車が見えなくなる場合があるほか、道路脇の雪山の影から突然、車や歩行者が出てくることもあるので「見えないは、危ない」を念頭に徐行や安全確認徹底などの注意が必要です。

## 冬道運転の心得

- 黒っぽく見える路面の「ブラックアイスバーン」に注意
- 急ブレーキ、急ハンドル、急加速はしない
- 緩い坂道も油断しないで、カーブ手前で減速する
- 余裕のある運行計画で早めの出発などに心がける
- 夏場の2倍程度の車間距離を空け、スピードを控える



## 冬道の運転に備えて



- 冬道の必需品
  - ・防寒着・長靴・手袋・スコップ・けん引ロープなど
- 出発前は、テレビやラジオ、インターネットなどで道路情報や気象情報を確認しましょう

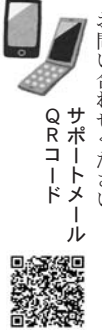
## 吹雪などで車が動けなくなったら

- ・車のマフラーが雪で埋まると、車内に排気ガスが逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあり、非常に危険です。マフラーが雪に埋まらないように定期的に除雪するか、エンジンを切りましょう。
- ・周囲に避難できる場所や家がないときは無理に車外に出ず、消防や警察に連絡して、救助に備えてください。また、ハザードランプを点灯するなど、車が目立つようにしましょう。
- ・車を置いて避難する場合は、除雪や救助活動の妨げにならないよう、連絡先のメモなどを車内に置き、車の鍵はつけたままにしておきましょう。

## 気象情報などの緊急情報が受け取れるメール配信システムに登録を！

町では、暴風雪警報などの気象情報や防災関連情報を「サポートメール@防災くんねつぷ」で配信しています。また、避難所開設など緊急時には「緊急速報メール（エリアメール）」も利用して皆さんにお知らせします。

随時、登録を受け付けていますので、詳しい内容については、総務課 交通防災係（☎47-2112）までお問い合わせください。



## 防災情報を携帯電話やスマートフォンから入手！

- 北海道地区道路情報
  - ・道路の通行止めが実施されている箇所を掲載しています。また、峠の現状をカメラ映像で見ることができます。
- 北海道の道路情報総合案内サイト「北の道ナビ」
  - ・道路交通情報・気象情報・防災情報などが総合的に掲載されています。